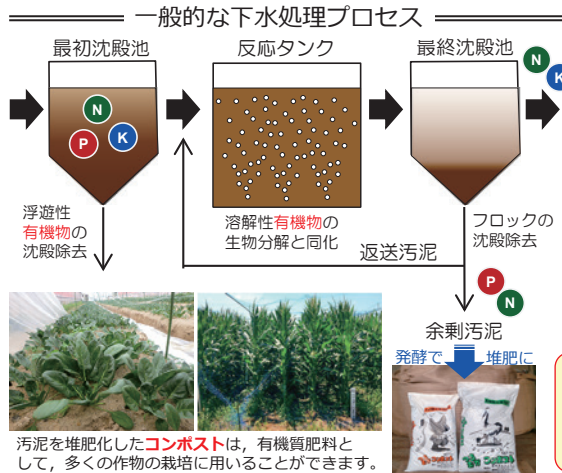


下排水の処理とそこで生まれる資源の農業利用技術

キーワード 循環型農業, 水産養殖, 温室効果ガス

研究概要

我々の生活から排出される下水は、水環境を汚染しないように、下水処理場で適切に浄化されています。浄化後の下水処理水や、浄化プロセスで生まれる汚泥を堆肥化したコンポストには、窒素・リン酸・カリなどの肥料成分が豊富に含まれています。この処理水とコンポストに代表される下水道資源を、できる限り有効に農業利用する方法を研究し、究極の循環型農業を目指しています。



汚泥を堆肥化したコンポストは、有機質肥料として、多くの作物の栽培に用いることができます。



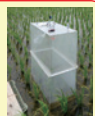
下水処理水の灌漑により、無施肥で慣行栽培と同等の収量が得られます。



下水処理水の池で藻類を育てて、天然に近い風味のアユも養殖できます。

脱炭素社会への貢献

下水処理水や汚泥コンポストの農業利用のメリットとして、農地からの温室効果ガスの排出削減効果についても、調べています。



どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

- ・ 下水処理水や汚泥コンポストなどの地域の未利用資源を活用した農業・水産技術
- ・ 農業や水産業からの温室効果ガス排出（カーボンフットプリント）の削減
- ・ 農業利用の有無にかかわらず、下排水処理に関するご相談も結構です。

渡部 徹 教授 WATANABE, Toru

専門分野：水環境工学・環境リスク評価
E-mail：to-ru@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

